

【通級による指導(特別支援教室)申込者参考資料】

学 校 名	学校
生 年 月 日 平成 年 月 日 (満 歳)	
児童生徒氏名	
記入者氏名	

この資料は通級による指導を希望される児童生徒の、学習面や行動面について、ご記入いただくものです。お申し込みの児童生徒について、実態がはっきり分かるようにご記入をお願いします。
※この参考資料は、学校が中心となって作成し、記載内容を保護者と必ず共有してください。

学習面に関する参考資料

次のそれぞれに関する項目について、ない場合は×、まれにある場合は△、時々ある場合は○、よくある場合は◎印を選択してください。全項目に記入をしてください。

A 聞くことについて	
	聞き間違いがある。(例:「はな」を「あな」や「知った」を「行った」と聞き間違える)
	聞きもらしがある。
	個別に言われると聞き取れるが、集団場面では難しい。
	指示の理解が難しい。
	話し合いが難しい。(例:話し合いの流れが理解できず、ついていけない)

B 話すことについて	
	適切な速さで話すことが難しい。(例:たどたどしく話す・とても早口である)
	言葉につまることがある。
	単語を羅列したり、短い文で内容の乏しい話をしたりする。
	思いつくままに話すなど、筋道の通った話をするのが難しい。
	内容をわかりやすく伝えることが難しい。

C 読むことについて	
	初めて出てきた語や、普段あまり使わない語などを読み間違える。
	文中の語句や行を抜かしたり、繰り返し読んだりする。
	音読が遅い。
	勝手読みがある。(例:「いきました」を「いました」と読む)
	文章の要点を正しく読みとることが難しい。

D 書くことについて	
	読みにくい字を書く。(例:字の形や大きさが整っていない・まっすぐ書けない)
	独特の筆順で書く。
	漢字の細かい部分を書き間違える。
	句読点が抜けたり、正しく打つことができなかつたりする。
	限られた量の作文や、決まったパターンの文章しか書かない。

E 計算すること	
	学年相応の数の意味や表し方についての理解が難しい。 (例:三千四十七を300047や347と書くなど)
	簡単な計算が暗算でできない。
	計算をするのにとっても時間がかかる。
	答えを得るのにいくつかの手続きを要する問題を解くのが難しい。(例:四則混合の計算など)
	学年相応の文章題を解くのが難しい。

F 推論することについて	
	学年相応の量を比較することや量を表す単位を理解することが難しい。 (例:長さやかさの比較・15cmは150mmということ)
	学年相応の図形を描くことが難しい。(例:丸やひし形などの図形の模写・見取り図や展開図)
	事物の因果関係を理解することが難しい。
	目的に沿って行動を計画し、必要に応じてそれを修正することが難しい。
	早合点や、飛躍した考えをする。

行動面(「不注意」、「多動性」、「衝動性」)に関する参考資料

次のそれぞれに関する項目について、ない場合は×、まれにある場合は△、時々ある場合は○、よくある場合は◎印を選択してください。全項目に記入をしてください。

A 不注意さについて	
	1. 学校での勉強で、細かいところまで注意を払わなかつたり、不注意な間違いをしたりする。
	2. 課題や遊びの活動で注意を集中し続けることが難しい。
	3. 面と向かって話しかけられているのに、聞いていないように見える。
	4. 指示に従えず、また仕事を最後までやり遂げない。
	5. 学習などの課題や活動を順序立てて行うことが難しい。
	6. 気持ちを集中させて努力し続けなければならない課題を避ける。
	7. 学習などの課題や活動に必要な物をなくしてしまう。
	8. 気が散りやすい。
	9. 日々の活動で忘れっぽい。

B 多動性について	
	10. 手足をそわそわ動かしたり、着席してもモジモジしたりする。
	11. 授業中や座っているべき時に席を離れてしまう。
	12. きちんとしていなければならない時に、過度に走りまわったりよじ登ったりする。
	13. 遊びや余暇活動におとなしく参加することが難しい。
	14. じっとしていない。または何かに駆り立てられるように活動する。
	15. 過度にしゃべる。

C 衝動性	
	16. 質問が終わらないうちに出し抜けに答えてしまう。
	17. 順番を待つのが難しい。
	18. 他の人がしていることをさえぎったり、じゃましたりする。

A・B・Cの◎、○、△をつけたものの中で、7歳(小学2年生)以前に見られ始め、社会生活や学校生活上の支障になっているものは何ですか。いくつでも番号でご記入ください。

--	--

学校や家庭などで著しい不適応がある場合は、その様子を具体的にご記入ください。

--	--

行動面(対人関係やこだわり等)に関する参考資料

次のそれぞれに関する項目について、ない場合は×、まれにある場合は△、時々ある場合は○、よくある場合は◎印を選択してください。全項目に記入をしてください。

A 興味関心等	
	他の子どもは興味をもたないようなことに興味があり、「自分だけの知識世界」をもっている。
	みんなから、「○○博士」「○○教授」と思われている。
	特定の分野の知識を蓄えているが、丸暗記であり、意味をきちんと理解していない。
	とても得意なことがある一方で、極端に不得手なものがある。

B コミュニケーション等	
	含みのある言葉や嫌味を言われても分からず、言葉通りに受け止めることがある。
	会話の仕方が形式的で、抑揚なく話したり、間合いが取れなかったりすることがある。
	誰かに何かを伝える目的がなくても、場面に関係なく声を出す。独り言が多い。
	いろいろなことを話すが、その時の場面や相手の感情や立場を理解しない。
	常識的な判断が難しい時がある。
	言葉を組み合わせて、自分だけにしか分からないような造語を作る。
	共感性が乏しい。
	周りの人が困惑するようなことも、配慮しないで言う。

C 対人関係等	
	大人びている。ませている。
	独特な目つきをすることがある。
	友達と仲良くしたいという気持ちはあるが、友達関係をうまく築けない。
	友達のそばにはいるが、一人で遊んでいる。
	同年齢の仲間関係を作ることが難しい。
	限定された興味だけに、集中する。
	手順や物にこだわる。
	相手や周囲の反応や状況に応じたふさわしい対処がうまくできない。
	自分なりの独特な日課や手順があり、変更や変化を嫌がる。
	球技やゲームをする時、仲間と協力することに考えが及ばない。

D 運動面等	
	動作やジェスチャーが不器用で、ぎこちないことがある。
	独特な姿勢をしていることがある。(例:体を前後に動かしたり、飛び跳ねたり、つま先歩き等)
	独特な声で話すことがある。
	独特な表情をしていることがある。(例:目をぐっと見開いたり、口を開いたり閉じたりする等)
	意図的にではなく、顔や体を動かすことがある。

学習面の参考資料について、LDの判断基準としているLDI-R及びLDIを参考に作成しました。
 行動面の参考資料について、ADHDの判断基準としているDSM-IV及びADHD-RSや高機能自閉症スペクトラムのスクリーニング質問紙ASSQを参考に作成しました。

記入方法が分からない場合は、お問い合わせください。

北九州市立特別支援教育相談センター 通級による指導担当(担当:村川・金田)
 (電話 093-921-2230)